

ENGINE NEWS vol.15

地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

事業連繫大学：信州大学、富山大学、金沢大学

特殊講義 地域課題解決型プログラム—ENGINEインターンシップ— ～富山大学で中間報告会を開催！～

特集

8月22日（月）の「地域課題解決型プログラム—ENGINEインターンシップ」では、富大生だけではなく、信大生・金大生、協力企業の皆さまが、富山大学に一堂に会し、中間報告会を開催しました。

3大学の学生が「食」「観光」「交通」「インフラ・ものづくり」の4テーマ、5チームに分かれ、地域が抱える課題について意見を交わしました。コロナ禍で学外調査も難しい中で、大学、学年、学部の異なる学生が一つのチームを組み、助け合い、議論を交わしながら9月22日の信州大学での最終報告会に向けて取り組んでいます。

A班は「食による地域創造」とのタイトルで中間報告を行いました。富大生では巽真由さん（経3）、横道彩夏さん（理3）、西目桃子さん（経2）が富山県の食と農をめぐる現状と課題を発表しました。

巽さんと西目さんは「社会人と直接話をすることは初めてで、就職活動前に、貴重な経験となった」と感想を寄せています。



チームで議論を深めるA班

食

富大生では清水朋己さん（経3）、杉山貴哉さん（経2）、林美希さん（経2）がB班として活動しています。B班は「農の現場に若い人材を増やす」ことをテーマに取り組み、「若い人材を増やすためには農業の魅力を訴求していくことが大切」とし、半農半Xに注目しています。清水さんは「インターンシップでは価値観の違い等の気づきを得た」と語っています。



講義に耳を傾けるB班

食

「観光」がテーマのC班は「観光～地域産業の現状・めざす姿・課題について～」とのタイトルで櫻井悠貴さん（工3）、小原周也さん（経2）、番留帆乃花さん（経2）が中間発表を行いました。

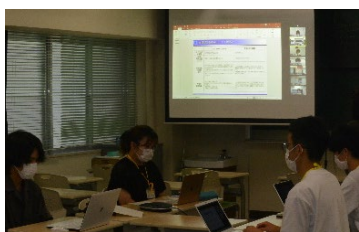
班ごとに協力企業のメンターからフィードバックをもらい、櫻井さんは「メンターミーティングで目標設定が明確になった」と語っています。



ミーティングを続けるC班の様子

観光

「交通」がテーマのD班は「過疎駅を消滅させず、より活気あるものにしていくためには、どのようなことを行けば良いのか」について調査を進めています。富大生では杉下晟作さん（経3）、細貝優さん（経3）、角崎莉央さん（経2）が参加し、PR動画や、駅に設置できるような観光パンフレット、ポスターの作成を視野に活動を進めています。



企業のメンターと活動をふり返るD班

交通

E班は「インフラ・ものづくり」のテーマに対して、「ものづくり」にフォーカス、「伝統工芸品と後継者不足」とのタイトルで中間報告を行いました。八木原直樹さん（理3）と、辻村萌絵花さん（経2）は、伝統工芸品の需要の低下や、原材料の不足問題、担い手不足について、インタビュー調査を中心に分析しています。



課題発表をするE班

ものづくり

